

無料

参加者

募集 説明会+  
WS体験会6月7日(日) ①13:00~15:00  
②15:30~17:30アートマネジメント講座を受講希望する  
人のための説明会+中島佑太WS  
体験会《見つけ方を見つける》

場所:アーツ前橋 1F スタジオ

募集人員:アートマネジメント講座を受講希望する人  
(アート/教育やまち/ひとづくりに興味がある方誰でも:一般市民・  
教員・高校生以上の学生、学芸員・NPO職員など) 募集人数:各回20名※講座を受講希望する人のための説明会と中島佑太による  
レクチャー+ワークショップです。6月13日(土) 13:00~17:00  
(WS+対話)アートマネジメント講座を受講希望する  
人のための説明会+中島佑太WS  
\*体験会《あっちがわとこっちがわをつくる》

場所:前橋清心幼稚園 2F ホール

(前橋市大手町三丁目1-21 tel.027-231-2415)

募集人数:20名(小学生以上の子どもの参加も可)

※説明会と中島佑太が清心幼稚園で毎月行っているワークショップを  
一般公開します。大人の参加、見学のみも可です。※清心幼稚園には駐車場はありませんので、近隣の駐車場を  
ご利用ください。

講座の目的・趣旨

申込締切:5月29日(金)

群馬大学では、文化庁の支援のもと、アーツ前橋と連携し、ア  
ートを活用して、地域の中でひととひとやひととものをつなぐ  
ことのできる、ひろい意味での「アートマネジメント(AM)がで  
きる人材育成事業」をはじめます。アーティストと地域アート  
プロジェクトをいっしょにつくりながら、自分の可能性に挑戦  
してみませんか?最初の出会いとして、参加者募集説明会+今回のアーティスト  
の1人である、中島佑太さんのこどもワークショップの体験会を  
実施します。ちょっと、ものごとをたて・よこ・ななめ・うらから  
みる、あたらしい視点の体験です。アーティストからの  
メッセージ私たちは、笑いあったり、涙を流したり、投票  
に行ったり、様々な表現を通して生きています。子  
どもたちとのワークショップで、子どもの目線でものご  
とを見てみたり、身近な社会について考えたりしてい  
きたいと思います。大人が子どもに教えるのではなく、  
アートならではの見方/つくり方を通じて、新  
しい世界の『見つけ方』をいっしょに見つ  
ていきます。

以下の内容を記入し

申込はメールか、FAXで下記までお願いします▼

- ①氏名(ふりがな)
- ②連絡先(メルアド、携帯電話番号または連絡のつく  
電話番号、住所)
- ③勤務先(学校学部名など)
- ④参加希望日(6月7日(日)①、同②、13日(土)、両日)
- ⑤年齢、その他の連絡事項

※参加者の活動中の写真を広報資料等に使用する場合がありますので、  
あらかじめご了承ください。

※空きがあれば、当日の受付も可です。

お申し込み・お問い合わせは、

gundaiart2015@gmail.com まで

主催:国立大学法人群馬大学  
共催:前橋市群馬大学教育学部美術教育講座・茂木研究室 事業担当:中島  
HP→<http://moka7886.p2.bindsite.jp/w1docs/pg209.html>

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 群馬大学教育学部 FAX:027-220-7310

## ◎趣旨（事業実施の背景など）

前橋に新しい美術館が誕生し、市民がアートに注目し、芸術文化の発展に期待している。現在の前橋の市街地は空洞化しているが、新しく誕生した美術館は疲弊した街や人に活気を取り戻す希望を見せます。前橋市にある群馬大学として、このチャンスを見逃さない。アーツ前橋は、「創造」「共有」「対話」の3つの理念、即ち「市民参加」をミッションに掲げた。それは与えられた文化の享受ではなく、アートによる対話を通して多文化共生し、文化を発信できる市民の育成を旨としています。

群馬大学（茂木ほか）はアーツ前橋の基本構想の立案から関わり、特にプレ事業として実施してきたアートスクール事業を支援し、アートを市民に拓き、市民参加を核に地域文化をリードする役割を果たしてきました。地域アートプロジェクトには地域と人やものをアートでつなぐコーディネータ&ファシリテータの育成が不可欠であり、本事業はその育成プログラムを企画・実施・評価できる人材育成を目的とします。アーツ前橋はその名のごとく美術だけでなく、音楽・ダンス・演劇の他、人の生活そのものをアートとして捉え、衣食住に関わる地域アートプロジェクトを実践しています。さらに近年重要性を増しているインクルーシブな社会へアートが貢献できること（障害者対応）も踏まえて、本企画は地域資源を核にさまざまなアーツプロジェクトを実践を通して学び、企画・運営できる人材の育成とそのプロジェクトを受容できる学生・市民・学校教員の文化力の向上と参加へのマインドの形成を目的とし、特に総合大学の中の教育学部の特色を活かし、学校連携を運営できる人材育成にポイントの1つを置きます。

## ◎文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業について

### 1. 事業の目的

大学の有する教員、教育研究機能、施設・資料等の資源を積極的に活用したアートマネジメント（文化芸術経営）（※）人材の養成プログラムの開発・実施を補助し、開発されたプログラムを広く他大学等に周知・普及させることで、我が国の文化芸術の振興を図ることを目的とします。

※ アートマネジメント（文化芸術経営）とは、劇場、音楽堂等の文化施設、美術館・博物館、文化芸術団体等において、芸術家の創造、文化芸術を享受する鑑賞者を中心とする地域社会、及びそれらを支えるリソースとの連携・接続を図ることにより、文化芸術の作り手と受け手をつなぐ役割のことを指します。（いわゆるファシリテータの役割も含まれます。）

また、アートマネジメントを担う人材に求められる能力としては、文化芸術に関する幅広い知識を持ち、芸術の受け手のニーズをくみ上げ、魅力的な公演・展示を企画する能力、文化芸術の価値を地域や行政にわかりやすく説明する能力、公演・展示の実施に必要な資金獲得、営業・渉外交渉等の業務を行う能力などが挙げられます。（H27年度募集要項より）